

新年のご挨拶



理事長
上田 清
(大和郡山市長)

新年明けましておめでとうございます。

組合員並びにご家族の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、共済組合の事業運営に関しましては、平素より格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

一昨年の政権交代により、社会保障制度におきましても、医療保険制度や公的年金制度の見直しが検討されてまいりましたが、少子高齢化問題は引き続き進行しており、不安定な社会経済情勢を背景に、わが国の社会保障制度を取り巻く環境は、ますます厳しいものになってきております。

当組合の短期給付財政につきましても、高い扶養率と高額な組合員一人当たりの年間医療費総額に財政基盤の縮小化が加わり、かつ高齢者医療制度への拠出金が大きく、全国市町村職員共済組合連合会の財政調整・特別財政調整事業による調整交付金、特別調整交付金を受ける大変厳しい状況が続いております。

改正に向けての議論が続いている政府には安定的な財源を確保して持続可能な医療保険制度と公的年金制度となることを望みたいところでありますが、社会保障制度を取り巻く状況は流動的であり、今後も動向を注視して参らねばと存じております。

このように、ここ数年、共済組合にとりましては極めて厳しい状況が続いておりますが、新しい年を迎え、理事長を務めるものとして、心新たに、役職員と力を合わせ、共済組合の健全運営と発展により一層の努力を尽くす所存でございます。今後とも格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、皆様のより一層のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



職員側代表理事
広瀬 秀夫
(樫原市)

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、清々しい新春を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年も私たちの職場を取り巻く状況は非常に厳しいまま推移していきました。

共済組合を取り巻く環境も、ここ数年、世界的な景気後退や進みゆく少子高齢化等により、非常に厳しい状況が続いております。

とりわけ当組合の短期給付財政につきましては、年々困窮の度を増しており、皆さまにも大変なご負担をおかけしております。

一昨年、政権が交代し、新たな公的年金制度、医療保険制度の行方に注視してまいりました。制度の見直しを図る以上、国民全体が納得し、安心できる仕組みにしなければなりません。共済組合は、皆様の疾病予防や健康対策事業に積極的かつ効率的に取り組みながら、厳しい短期給付財政を健全なものに導くための努力を重ねています。ぜひとも政府にはこのような現状を踏まえた制度改革を望みたいものです。

当組合といたしましても、今後ともなお一層短期給付財政の安定化に向け、また共済組合各事業の健全な運営に向け決意も新たに更なる努力をしまいる所存でございます。

どうか皆様も、「自分の健康は自分で守る」という合言葉のもと、新年を機に生活習慣の改善に取り組む等、ますます健康に留意され、またジェネリック医薬品の利用や医療機関の適正受診に心がけていただき、医療費節減にご協力いただきますようお願いいたします。また、昨年に引き続きまして、共済組合へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様とご家族のご健康を祈念いたしまして年頭のご挨拶に代えさせていただきます。